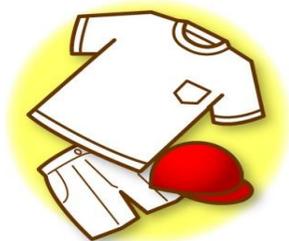
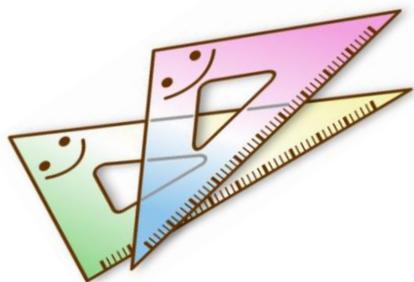


令和4年度

授業改善推進プラン



国立市立国立第八小学校

本校の授業改善に向けた視点

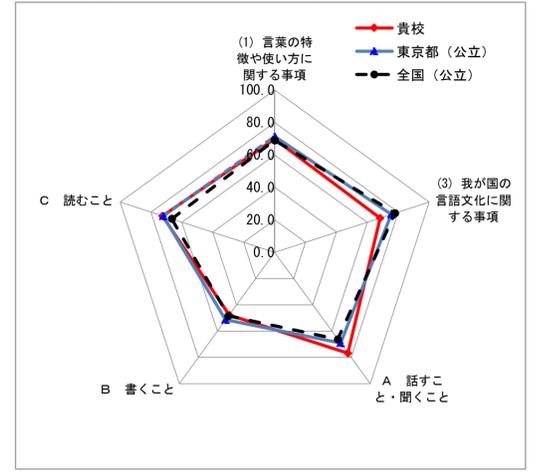
教育課程編成上の工夫	指導内容・指導方法の工夫	校内における研究や研修の工夫	評価活動の工夫	開かれた学校づくり (家庭や地域社会との連携の工夫)
①学校評価を生かした特色ある学校づくり	①基礎的・基本的な内容の定着を図る効果的な授業の工夫	①「どんなこともあきらめずに立ち向かう八小っ子になろう」を主題とした研究・研修の充実	①指導と評価の一体化	①教育方針、教育計画、教育成果や個別評価などを様々な機会にわかりやすく伝達
②学力向上のための年間授業時数の確保	②思考力・判断力・表現力の向上を図る学習活動の工夫	②分科会を中心とした授業研究と教科研究の充実	②「観点別学習状況の評価」の精度の向上	②学校だより、学年だよりその他説明資料の充実
③より質の高い年間指導計画の作成	③問題解決学習の指導法定着	③教員研修の充実	③評価規準の改善	③諸活動での保護者・地域人材の積極的な活用
④人権教育の推進	④補充・発展的な学習の工夫	④OJTによる校内での教育実践の交流	④学校評価の内容・方法の検討	④学校評議員会と連携した学校評価の活用
⑤規範意識の醸成と公共心の涵養	⑤各教科における少人数指導（習熟の程度に応じた）指導方法の工夫	⑤教材研究の時間の確保	⑤学校関係者評価委員会のさらなる充実	⑤関連諸機関との連携、協力
⑥道徳の時間の充実	⑥体力・運動能力向上のための指導の工夫	⑥パフォーマンス課題の工夫と活用させるための指導法の改善	⑥ループリック評価の活用	
⑦特別支援教育の推進と交流及び共同学習の充実	⑦ICTを活用した授業の工夫	⑦一人一台端末を活用した授業改善		
⑧モジュールを活用した柔軟な指導時間の確保	⑧板書、ノート指導の工夫			
⑨カリキュラムマネジメントによる教科横断的な指導	⑨デジタル教科書やデジ教科書の活用			

・以下の集計値／グラフは、4月19日に実施した調査の結果を集計した値である。
※ただし、4月19日に調査を実施していない学校については、4月20日以降5月20日までに実施した調査の結果を集計した値とする。

集計結果

対象児童数		国立市立国立第八小学校	東京都（公立）	全国（公立）	
		41	92,237	965,308	
分類	区分	対象問題数（問）	平均正答率（%）		
			貴校	東京都（公立）	全国（公立）
全体		14	68	69	65.6
学習指導要領の内容	知識及び技能	(1) 言葉の特徴や使い方にに関する事項	69.8	71.4	69.0
		(2) 情報の扱い方にに関する事項	0		
		(3) 我が国の言語文化に関する事項	68.3	75.5	77.9
	思考力、判断力、表現力等	A 話すこと・聞くこと	76.8	69.1	66.2
		B 書くこと	47.6	51.3	48.5
C 読むこと		72.6	72.1	66.6	
評価の観点	知識・技能	69.5	72.0	70.5	
	思考・判断・表現	67.4	66.2	62.0	
	主体的に学習に取り組む態度	0			
問題形式	選択式	73.8	75.3	71.8	
	短答式	62.6	65.7	63.6	
	記述式	59.3	53.9	51.3	

<学習指導要領の内容の平均正答率の状況>



問題別集計結果

※「学習指導要領の内容」と「評価の観点」については、一つの問題が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の問題数を合計した数は、実際の問題数とは一致しない場合がある。

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の内容			評価の観点	問題形式	正答率（%）			無解答率（%）					
			知識及び技能					選択式	短答式	記述式	貴校	東京都（公立）	全国（公立）	貴校	東京都（公立）	全国（公立）
			(1) 言葉の特徴や使い方にに関する事項	(2) 情報の扱い方にに関する事項	(3) 我が国の言語文化に関する事項											
1一	【話し合いの様子の一部】における谷原さんの発言の理由として適切なものを選択する	話し言葉と書き言葉との違いを理解する	5・6 イ			○	○	○	87.8	88.2	85.5	0.0	1.5	0.9		
1二	【話し合いの様子の一部】における谷原さんや中村さんの発言の理由として適切なものを選択する	言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることを捉える	5・6 ア			○	○	○	73.2	71.5	68.8	0.0	1.6	1.0		
1三	【話し合いの様子の一部】で、中村さんが前田さんに質問し、知りたかったことの説明として適切なものを選択する	必要なことを質問し、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの内容を捉える			3・4 エ	○	○	○	90.2	87.1	84.7	0.0	1.6	1.0		
1四	「ごみ拾い」か「花植え」かのどちらかを選んで、 <input type="checkbox"/> でどのように話すかを書く	互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、自分の考えをまとめる	5・6 オ			○	○	○	63.4	51.1	47.7	4.9	3.4	3.0		
2一 (1)	「ぼく」の気持ちの説明として適切なものを選択する	登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉える			3・4 イ	○	○	○	68.3	73.9	68.4	2.4	1.6	1.0		
2一 (2)	「老人」が未来の「ぼく」だと考えられるところとして適切なものを選択する	登場人物の相互関係について、描写を基に捉える			5・6 イ	○	○	○	80.5	77.7	70.6	2.4	2.4	1.6		
2二	物語から伝わってくることを考え、【森田さんの文章】の <input type="checkbox"/> A に入る内容を書く	人物像や物語の全体像を具体的に想像する			5・6 エ	○	○	○	78.0	71.7	68.3	7.3	13.9	12.2		
2三	【山村さんの文章】の <input type="checkbox"/> B に入る内容として適切なものを選択する	表現の効果を考える			5・6 エ	○	○	○	63.4	65.1	59.2	12.2	4.4	3.2		
3一	【文章2】の <input type="checkbox"/> の部分を、どのようなことに気を付けて書いたのか、適切なものを選択する	文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整える			5・6 オ	○	○	○	58.5	63.6	59.2	9.8	4.1	2.5		
3二	【伝え合いの様子の一部】を基に、【文章2】のよさを書く	文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付ける			5・6 カ	○	○	○	36.6	39.0	37.7	22.0	17.4	14.5		
3三ア	【文章2】の中の <input type="checkbox"/> 部アを、漢字を使って書き直す（ <input type="checkbox"/> ）	学年別漢字配当表に示されている漢字を文中で正しく使う	5・6 エ			○	○	○	58.5	67.5	65.2	24.4	10.8	8.1		
3三イ	【文章2】の中の <input type="checkbox"/> 部イを、漢字を使って書き直す（ <input type="checkbox"/> ）		5・6 エ			○	○	○	58.5	61.9	58.7	19.5	13.3	10.2		
3三ウ	【文章2】の中の <input type="checkbox"/> 部ウを、漢字を使って書き直す（ <input type="checkbox"/> ）		5・6 エ			○	○	○	70.7	67.8	67.1	26.8	18.5	14.7		
3四	（一）から（二）に書き直した際、気を付けた内容として適切なものを選択する	漢字や仮名の大きさ、配列に注意して書く			3・4 エ (イ)	○	○	○	68.3	75.5	77.9	14.6	9.0	5.9		

課題：(1) 言葉の特徴や使い方にに関する事項
 ➡漢字を文の中で正しく使う力の向上。一人一台端末の操作だけでなく、紙媒体による機会も保障する。
 (3) 我が国の言語文化に関する事項
 ➡文章など体裁を整えて書く力の向上。日本語の美しさや良さを感じる機会を充実させる。
 B 書くこと
 ➡自分の考えを記述する力の向上。出題の意図を理解して、文章で表す機会を充実させる。

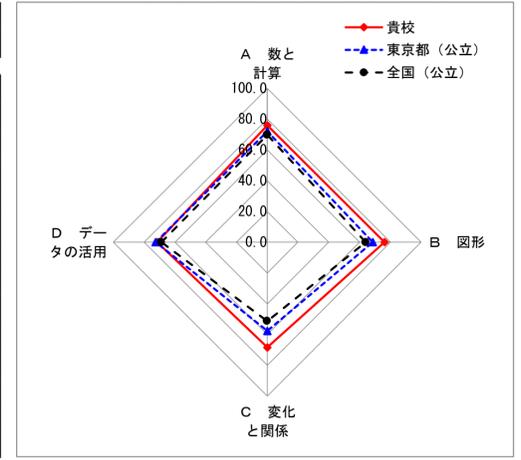
・以下の集計値／グラフは、4月19日に実施した調査の結果を集計した値である。
※ただし、4月19日に調査を実施していない学校については、4月20日以降5月20日までに実施した調査の結果を集計した値とする。

集計結果

対象児童数		国立市立国立第八小学校	東京都（公立）	全国（公立）	
		41	92,266	965,431	
分類	区分	対象問題数（問）	平均正答率（%）		
			貴校	東京都（公立）	全国（公立）
全体		16	73	67	63.2
学習指導要領の領域	A 数と計算	6	76.0	72.1	69.8
	B 図形	4	76.2	68.6	64.0
	C 測定	0			
	C 変化と関係	4	68.3	57.6	51.3
	D データの活用	3	71.5	72.4	68.7
評価の観点	知識・技能	9	78.6	72.4	68.2
	思考・判断・表現	7	65.9	60.5	56.7
	主体的に学習に取り組む態度	0			
問題形式	選択式	6	63.4	56.7	51.8
	短答式	6	85.8	80.6	76.5
	記述式	4	68.3	62.7	60.2

※「学習指導要領の領域」と「評価の観点」については、一つの問題が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の問題数を合計した数は、実際の問題数とは一致しない場合がある。

<学習指導要領の領域の平均正答率の状況>



問題別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域					評価の観点			問題形式			正答率（%）			無解答率（%）					
			A 数と計算	B 図形	C 測定	C 変化と関係	D データの活用	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	貴校	東京都（公立）	全国（公立）	貴校	東京都（公立）	全国（公立）			
1 (1)	1050×4を計算する	被乗数に空位のある整数の乗法の計算をすることができる	3(1) ア(ア)										○			○	↑100.0	↓93.5	92.4	0.0	0.4	0.3
1 (2)	14と21の最小公倍数を求める	二つの数の最小公倍数を求めることができる	5(1) ア(イ)										○			○	↓75.6	↑76.0	72.2	7.3	3.3	3.0
1 (3)	カップケーキ7個分の値段を、1470÷3で求めることができるわけを書く	示された場面を解釈し、除法で求めることができる理由を記述できる	3(4) イ(ア)										○			○	↓65.9	↑72.4	76.0	9.8	6.2	5.2
1 (4)	85×21の答えが1470より必ず大きくなることを判断するための数の処理の仕方を選ぶ	示された場面において、目的に合った数の処理の仕方を考察できる	4(2) イ(ア)										○	○			↑51.2	↓40.7	34.8	0.0	1.2	0.9
2 (1)	果汁が25%含まれている飲み物の量を基にしたときの、果汁の量の割合を分数で表す	百分率で表された割合を分数で表すことができる				5(3) ア(イ)							○			○	↑85.4	↓76.8	71.1	2.4	4.0	3.9
2 (2)	果汁が40%含まれている飲み物の量が1000mLのときの、果汁の量を書く	百分率で表された割合と基準量から、比較量を求めることができる				5(3) ア(イ)							○			○	↑87.8	↓72.3	64.6	0.0	3.6	3.3
2 (3)	果汁が含まれている飲み物の量を半分にしたときの、果汁の割合について正しいものを選ぶ	示された場面のように、数量が変わっても割合は変わらないことを理解している				5(3) ア(ア)							○	○			↑41.5	↓29.1	21.4	0.0	1.4	1.1
2 (4)	果汁が30%含まれている飲み物に果汁が180mL入っているときの、飲み物の量の求め方と答えを書く	伴って変わる二つの数量が比例の関係にあることを用いて、未知の量の求め方と答えを記述できる				5(1) イ(ア)							○			○	↑58.5	↓52.2	48.0	0.0	5.6	5.5
3 (1)	表のしりとり欄に入る数を求める式と答えを書く	表の意味を理解し、全体と部分の関係に着目して、ある項目に当たる数を求めることができる	4(6) ア(ア)										○			○	↑80.5	↓79.5	75.3	2.4	2.2	2.1
3 (2)	分類整理されたデータから、全員の希望が一つは通るように、遊びを選ぶ	分類整理されたデータを基に、目的に応じてデータの特徴を捉え考察できる											○	○			↓68.3	↑70.1	63.9	2.4	2.0	1.6
3 (3)	1年生と6年生が希望する遊びの割合を調べるためのグラフを選び、そのグラフから割合が一番大きい遊びを選ぶ	目的に応じて円グラフを選択し、必要な情報を読み取ることができる											○	○			↓65.9	↑67.7	66.8	4.9	2.8	2.2
3 (4)	1年生の希望をよりかなえるためのポイント数の求め方と答えを書く	加法と乗法の混合したポイント数の求め方を解釈し、ほかの場合のポイント数の求め方と答えを記述できる	4(6) ア(ア)										○			○	↑82.9	↓70.5	67.7	12.2	9.6	8.6
4 (1)	示されたプログラムについて、正三角形をかくことができる正しいプログラムに書き直す	正三角形の意味や性質を基に、回転の大きさとしての角の大きさに着目し、正三角形の構成の仕方について考察し、記述できる	3(1) ア(ア)										○			○	↑65.9	↓55.6	48.8	4.9	4.7	3.8
4 (2)	長方形のプログラムについて、向かい合う辺の長さを書く	図形を構成する要素に着目して、長方形の意味や性質、構成の仕方について理解している											○	○			↓85.4	↑85.7	83.2	7.3	5.2	4.7
4 (3)	辺の長さや角の大きさに着目し、ひし形をかくことができるプログラムを選ぶ	図形を構成する要素に着目して、ひし形の意味や性質、構成の仕方について理解している											○	○			↑85.4	↓70.8	66.5	4.9	5.3	4.6
4 (4)	示されたプログラムでかくことができる図形を選ぶ	示された作図の手順を基に、図形を構成する要素に着目し、平行四辺形であることを判断できる	4(1) ア(イ)										○	○			↑68.3	↓62.1	57.6	7.3	5.8	5.1

課題：D データの活用

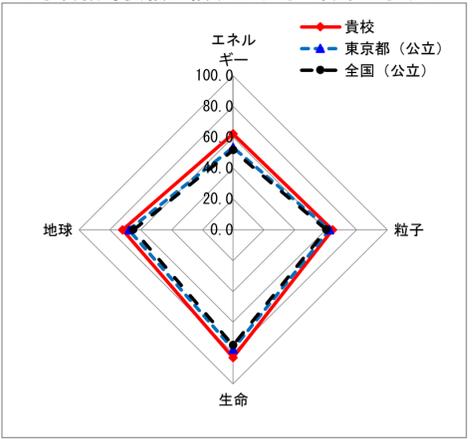
➡分類整理されたデータを基に、目的に応じてデータの特徴を捉え考察できる力の向上。いろいろな表やグラフを扱い、必要な情報を読み取ったり表現したりする機会を充実させる。

・以下の集計値／グラフは、4月19日に実施した調査の結果を集計した値である。
※ただし、4月19日に調査を実施していない学校については、4月20日以降5月20日までに実施した調査の結果を集計した値とする。

集計結果

対象児童数		国立市立国立第八小学校	東京都（公立）	全国（公立）		
		41	92,293	965,761		
分類	区分	対象問題数（問）	平均正答率（%）			
			貴校	東京都（公立）	全国（公立）	
全体		17	71	65	63.3	
学習指導要領の区分・領域	A区分	「エネルギー」を柱とする領域	4	62.2	53.4	51.6
	B区分	「粒子」を柱とする領域	5	64.4	62.4	60.4
		「生命」を柱とする領域	5	82.9	77.4	75.0
		「地球」を柱とする領域	5	71.7	67.7	64.6
評価の観点	知識・技能	6	67.1	63.6	62.5	
	思考・判断・表現	11	72.5	66.5	63.7	
	主体的に学習に取り組む態度	0				
問題形式	選択式	11	76.9	69.4	66.8	
	短答式	3	62.6	67.0	66.2	
	記述式	3	55.3	49.6	47.3	

＜学習指導要領の領域の平均正答率の状況＞



※「学習指導要領の領域」と「評価の観点」については、一つの問題が複数の区分に該当する場合があります。それぞれの分類について各区分の問題数を合計した数は、実際の問題数とは一致しない場合があります。

問題別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の区分・領域			評価の観点	問題形式	正答率（%）			無解答率（%）		
			A区分	B区分				貴校	東京都（公立）	全国（公立）	貴校	東京都（公立）	全国（公立）
			「エネルギー」を柱とする領域	「粒子」を柱とする領域	「生命」を柱とする領域								
1 (1)	見いだされた問題を基に、観察の記録が誰のものであるかを選ぶ	問題を解決するために必要な観察の視点を基に、問題を解決するまでの道筋を構想し、自分の考えをもつことができる		3B (1)ア (7) (イ)※		○	○	92.7	93.9	92.9	0.0	0.3	0.2
1 (2)	自分の観察の記録と新たに追加された他者の観察の記録を基に、問題に対するまとめを見直して書く	自分で行った観察で収集した情報と追加された情報を基に、問題に対するまとめを検討して、改善し、自分の考えをもち、その内容を記述できる		3B (1)ア (7) (イ)※	○		○	73.2	70.1	67.5	7.3	5.7	5.0
1 (3)	昆虫の体のつくりの特徴を基に、ナナホシテントウが昆虫であるかどうかを説明するための視点を選ぶ	昆虫の体のつくりを理解している		3B (1)ア (7) (イ)※	○	○	80.5	75.1	73.1	0.0	0.4	0.3	
1 (4)	資料を基に、カブトムシは育ち方と主な食べ物の特徴から二次元の表のどこに当てはまるかを選ぶ	提示された情報を、複数の視点で分析して、解釈し、自分の考えをもつことができる		3B (1)ア (7) (イ)※	○	○	82.9	79.0	76.1	0.0	1.0	0.7	
1 (5)	育ち方と主な食べ物の二次元の表から気付いたことを基に、昆虫の食べ物に関する問題を見いだして選ぶ	観察などで得た結果を、他者の気付きの視点で分析して、解釈し、自分の考えをもつことができる		3B (1)ア (7) (イ)※	○	○	85.4	68.7	65.5	0.0	1.8	1.4	
2 (1)	一定量の液体の体積を適切にはかり取る器具の名称を書く	メスリンダーという器具を理解している		4A (2)ア (7) (イ)※	○		○	43.9	64.2	67.8	19.5	12.6	9.8
2 (2)	水50mLをはかり取る際に、メスリンダーに入れた水の量を正しく読み取り、さらにスポイトで加える水の量を選ぶ	メスリンダーの正しい扱い方を身に付けている		4A (2)ア (7) (イ)※	○	○	90.2	72.0	70.0	0.0	0.9	0.6	
2 (3)	水溶液の凍り方について、実験の結果を基に、それぞれの水溶液が凍る温度を見だし、問題に対するまとめを選ぶ	自分で発想した予想と、実験の結果を基に、問題に対するまとめを検討して、改善し、自分の考えをもつことができる		4A (2)ア (7) (イ)※ 5A (1)ア (7) (イ)※	○	○	75.6	68.5	62.8	2.4	1.4	1.0	
2 (4)	凍った水溶液について、試してみたいことを基に、見いだされた問題を書く	自然の事物・現象から得た情報を、他者の気付きの視点で分析して、解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述できる		4A (2)ア (7) (イ)※ 5A (1)ア (7) (イ)※	○		○	48.8	41.8	39.3	9.8	9.6	8.7
3 (1)	光の性質を基に、鏡を操作して、指定した的に反射させた日光を当てることができる人を選ぶ	日光は直進することを理解している		3A (3)ア (7) (イ)※	○	○	41.5	26.8	27.8	0.0	0.9	0.6	
3 (2)	実験の結果から、問題の解決に必要な情報が取り出しやすく整理された記録を選ぶ	問題に対するまとめを導きだすことができるように、実験の過程や得られた結果を適切に記録している		3A (3)ア (7) (イ)※	○	○	82.9	78.1	74.4	2.4	2.0	1.3	
3 (3)	鏡ではね返した日光の位置が変化していることを基に、継続して同じ条件で実験を行うために、実験の方法を見直し、新たに追加した手順を書く	自分で発想した実験の方法と、追加された情報を基に、実験の方法を検討して、改善し、自分の考えをもつことができる		3A (3)ア (7) (イ)※ 3B (2)ア (7) (イ)※	○	○	80.5	71.5	68.9	2.4	6.1	5.1	
3 (4)	問題に対するまとめから、その根拠を実験の結果を基にして書く	実験で得た結果を、問題の視点で分析して、解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述できる		3A (3)ア (7) (イ)※	○		○	43.9	37.0	35.1	9.8	12.6	11.2
4 (1)	冬の天気と気温の変化を基に、問題に対するまとめを選ぶ	観察で得た結果を、問題の視点で分析して、解釈し、自分の考えをもつことができる		4B (4)ア (7) (イ)※	○	○	90.2	85.0	82.3	0.0	1.5	1.0	
4 (2)	夜の気温の変化について、他者の予想を基に、記録の結果を表したグラフを見通して選ぶ	予想が確かめられた場合に得られる結果を見通して、問題を解決するまでの道筋を構想し、自分の考えをもつことができる		4B (4)ア (7) (イ)※	○	○	75.6	68.6	64.5	0.0	1.9	1.3	
4 (3)	結果からいえることは、提示された結果のどこを分析したものなのかを選ぶ	観察などで得た結果を、結果からいえることの視点で分析して、解釈し、自分の考えをもつことができる		4B (4)ア (7) (イ)※	○	○	48.8	47.8	45.5	7.3	7.8	6.5	
4 (4)	鉄棒に付着していた水滴と氷の粒は、何が変化したものかを書く	水は水蒸気になって空気中に含まれていることを理解している		4A (2)ア (7) (イ)※ 4B (4)ア (7) (イ)※	○		○	63.4	65.4	62.0	7.3	7.7	6.2

※本設問においては、思考力、判断力、表現力等をみるために用いる知識及び技能を示している。

課題：器具名や専門用語などの知識・技能
➡実験器具の名称や自然現象に関する知識の習得。器具の名称の由来に触れたり、現象の特徴を視

**本年度の重点…基礎的・基本的な能力の強化
思考力・判断力・表現力の向上**

【具体的な実践】	基礎的・基本的な能力の強化	思考力・判断力・表現力の向上
●低学年…	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の中で漢字を使えるようにするために、絵で表された場面と言葉を結びつけることにより、語彙を豊かに広げる。 ・ベーシックドリルを活用し、漢字の読み書きの定着を図る。 ・ドリルパークの活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・説明文、物語教材において、資料と文を結びつけながら内容を読み取り、交流により他者に分かるように伝える時間を設定する。 ・短文の読み聞かせ等を行い、話の内容を答える活動を取り入れる。（内容あてクイズなど） ・一人一台端末の活用
●中学年…	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字の組み立てや構成要素（へん、つくり、かんむり、あし、によろ、たれ、かまえなど）の学習をすることを通して、漢字の意味を類推したり、意味を押さえて漢字を習得する。 ・ベーシックドリルを活用し、漢字の読み書きの定着を図る。（紙媒体等に書字する機会の保障） ・ドリルパークの活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・下学年や他教材の物語文を用いて、多くの文章に触れさせるとともに、挿絵や図を抜いたものに文の挿入として適切なものを考えさせたり、文章構成の様々なパターンや問題形式に触れさせたりする。 ・継続的に短文要約の時間を設定する。 ・一人一台端末の活用
●高学年…	<ul style="list-style-type: none"> ・同じ部分を持つ漢字（求、球、救など）は、音も共通する場合があることを理解し、漢字字典を使って問題を作ったり、解いたりする。 ・ベーシックドリルを活用し、漢字の読み書きの定着を図る。（紙媒体に書字する機会の保障） ・日本語の美しさや良さに触れる機会の充実。 ・ドリルパークの活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・下学年や他教材の物語文、説明文を用いて、多くの文章に触れさせるとともに、挿絵や図を抜いたものに文の挿入として適切なものを考えさせる。 ・物語文、説明的文章の読み取りの際、要点を捉えるだけでなく、段落相互の関連付けを行う。 ・継続的に短文要約の時間を設定する。 ・一人一台端末の活用

**本年度の重点…基礎的・基本的な能力の強化
思考力・判断力・表現力の向上**

【具体的な実践】	基礎的・基本的な能力の強化	思考力・判断力・表現力の向上
●低学年…		
●中学年…	<ul style="list-style-type: none"> • 図や表にじっくりと触れる機会を増やす。 • まとめ方のバリエーションを増やす。 	<ul style="list-style-type: none"> • 体験的学習を通し、考えたことやわかったことを発表・交流による言語活動を充実させ、思考力を高める。 • 実感をもって追究できるような学習問題を設定し、主体的に問題解決できるよう単元計画を工夫する。 • 一人一台端末、学校放送番組等の活用
●高学年…	<ul style="list-style-type: none"> • 学習してわかったことや考えたことなどを「自分なりの言葉」でまとめる活動を増やす。 	<ul style="list-style-type: none"> • じっくりと「個人で考える場面の充実」（予想やまとめの段階）と「言語による交流活動」の設定を工夫する。 • グラフや写真などの丁寧に読み取り、自分事として考えられるような学習問題を設定する。 • 一人一台端末、学校放送番組等の活用

**本年度の重点…基礎的・基本的な能力の強化
思考力・判断力・表現力の向上**

【具体的な実践】	基礎的・基本的な能力の強化	思考力・判断力・表現力の向上
●低学年…	<ul style="list-style-type: none"> ・ベーシックドリルを繰り返し活用する。(計算技能) ・具体物を使ったり、操作したりする活動を充実する。 ・ドリルパークの活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題文から分かっていること、解決することを読み取り、筋道を立てて考えさせ、解決する。 ・児童から多様な考え方を引き出し、互いに表現する時間を十分に確保する。 ・考えたことを式や図、文章、具体物の操作などで表し、自分の言葉で説明する活動を繰り返し行う。 ・様々な考え方に触れさせるために、「自力解決」の時間と「学び合い」の時間を充実する。 ・パフォーマンス課題とルーブリック評価を活用する。 ・一人一台端末の活用
●中学年…	<ul style="list-style-type: none"> ・ベーシックドリルを繰り返し活用する。(計算技能、単位換算) ・既習事項を活用して問題を解決する活動を充実する。 	
●高学年…	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な表やグラフを読み取ったり作成したりする活動を充実する。 ・ドリルパークの活用 	

**本年度の重点…基礎的・基本的な能力の強化
思考力・判断力・表現力の向上**

【具体的な実践】	基礎的・基本的な能力の強化	思考力・判断力・表現力の向上
●低学年…		
●中学年…	<ul style="list-style-type: none"> ・学習した用語や、実験の諸条件をその都度整理して理解できるようにする。 ・実験器具の名称を確認し、正しい使い方を習得させる。 ・ベーシックドリルを活用し、知識・技能の定着を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・見通しをもって、根拠のある仮説を立てたり、適切な実験方法を考えさせたりする。 ・結果からどのようなことがわかるのか、自分の言葉で表現させる。 ・一人一台端末の活用
●高学年…	<ul style="list-style-type: none"> ・検証可能な実験方法を自分達で考えさせたり、実験において、変える条件と変えない条件を考えさせたりする。 ・実験によって現れる事象の特徴を理解させる。 ・ベーシックドリルを活用し、知識・技能の定着を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実験結果を表や図でまとめ、その表や図からわかる結論を自分の言葉で記述できるようにする。 ・一つの事象だけでなく他事象についても調べ、共通性や多様性について理解させる。 ・一人一台端末の活用

**本年度の重点…基礎的・基本的な能力の強化
思考力・判断力・表現力の向上**

【具体的な実践】	基礎的・基本的な能力の強化	思考力・判断力・表現力の向上
●低学年…	<ul style="list-style-type: none"> ・季節の遊びや身近にあるものを使う遊びに何度も関わり合うことによって、面白さや自然の不思議さに気付かせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な遊びを体験させ、遊びの質や幅を広げ、日常生活にもつながる活動をする。 ・気付きの共有を図るために、発表の場を段階的に設定することで、伝え合う力を育てる。（2人、グループ、全体） ・他教科との合科的、関連的な学習活動を設ける。 ・一人一台端末の活用
●中学年…	/	/
●高学年…	/	/

**本年度の重点…基礎的・基本的な能力の強化
思考力・判断力・表現力の向上**

【具体的な実践】	基礎的・基本的な能力の強化	思考力・判断力・表現力の向上
●低学年…	<ul style="list-style-type: none"> ・集団で音楽表現をすることや、歌う活動そのものの楽しさや喜びを十分に味わえるような活動を取り入れる。（わらべうた、音遊び） 	<ul style="list-style-type: none"> ・聴いて感じたことや自分が表現したいことを、友達と伝え合う機会を増やす。 ・一人一台端末の活用。
●中学年…	<ul style="list-style-type: none"> ・表現したい思いを歌唱で表現できるよう、様々な声の出し方を身に付ける。（声の体操、聴きあい活動、強弱記号の学習） 	<ul style="list-style-type: none"> ・聴いて感じたことや自分が表現したいことが、共通事項（リズム、音色、強弱などの音楽の要素）によって価値づけられるような発問や活動の工夫をする。 ・一人一台端末の活用。
●高学年…	<ul style="list-style-type: none"> ・表現したい思いが伝わるように歌う力を高め、歌詞の内容や音楽の構造を感じ取りながら歌う活動を日常的に取り入れる。（声の体操、聴き合い活動、歌詞の読み込み） 	<ul style="list-style-type: none"> ・共通事項（リズム・音色・強弱などの音楽の要素）の言葉を用いながら、演奏の工夫や表現の意図を友達や教師に伝える機会を増やす。 ・一人一台端末の活用。

**本年度の重点…基礎的・基本的な能力の強化
思考力・判断力・表現力の向上**

【具体的な実践】	基礎的・基本的な能力の強化	思考力・判断力・表現力の向上
●低学年…	<ul style="list-style-type: none"> ・はさみ、のりの使い方のコツを知り、安全に使いこなせるようにする。 ・絵の具の使い方の基礎を徹底する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題に関連性のある様々な傾向の作品を選んで多く鑑賞する。 ・折に触れて、友達作品や年齢的に近い学年（小学校低学年～中学生）の作品を鑑賞する。 ・鑑賞を通して自らの世界を広げる。 ・形や色、組み合わせなどを自分の感覚や活動を通してとらえられるようにし、表現活動に活かせるようにする。 ・一人一台端末の活用
●中学年…	<ul style="list-style-type: none"> ・カッター、かなづち、のこぎりの使い方のコツを知り、安全に使いこなせるようにする。 ・絵の具の使い方をマスターして、工夫して塗れるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題に関連性のある様々な傾向の作品を選んで多く鑑賞する。 ・折に触れて、友達作品や年齢的に近い学年（小学校中学年～小学校高学年）の作品を鑑賞する。 ・鑑賞を通して自らの世界を広げる。 ・形や色、組み合わせなどを自分の感覚や活動を通してとらえられるようにし、表現活動に活かせるようにする。 ・一人一台端末の活用
●高学年…	<ul style="list-style-type: none"> ・彫刻刀、糸のこぎりの使い方のコツを知り、安全に使いこなせるようにする。 ・糸のこぎり以外の道具を使えるようにする。 ・様々な道具を使って、工夫して描画できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題に関連性のある様々な傾向の作品を選んで多く鑑賞する。 ・折に触れて、友達作品や年齢的に近い学年（小学校高学年～中学生）の作品や国内外の有名作品を鑑賞する。 ・鑑賞を通して自らの世界を広げる。 ・形や色、組み合わせなどを自分の感覚や活動を通してとらえられるようにし、表現活動に活かせるようにする。 ・一人一台端末の活用

**本年度の重点…基礎的・基本的な能力の強化
思考力・判断力・表現力の向上**

基礎的・基本的な能力の強化 思考力・判断力・表現力の向上		
	実態と傾向	対策と取組
●低学年…	≪令和4年度体力テストの結果より≫ ・握力、立ち幅とび、長座体前屈が重点課題である。 ・それぞれの動きのコツがつかめず、記録が伸びていない。 ・体力合計点の都平均以下は1年男子女子、2年男子。 ・体力合計点の都平均以上は2年女子。	<ul style="list-style-type: none"> ・体育「体づくり運動」の授業で、体の基本的な動きを身に付けることができるよう運動の場を工夫する。 ・生活の中で机運びや雑巾しぼり等のつかみ方や握り方を意識させることで、握力の向上を目指す。 ※毎学期にパワーアップタイムを設け、全校で集中的に、特に課題となる能力の向上を目指す。 ・コーディネーショントレーニングの実施による運動能力の向上を目指す。 ・一人一台端末の活用 ・校内研究「体育の授業でシンキング&チャレンジ」でゲーム・ボール運動領域の学習における思考力の向上。
●中学年…	≪令和4年度体力テストの結果より≫ ・握力、立ち幅とびが重点課題である。 ・特に柔軟性や敏捷性を測定する種目については、個人差が大きい。 ・体力合計点の都平均以下は3年男子女子、4年男子。 ・体力合計点の都平均以上は4年女子。	<ul style="list-style-type: none"> ・体育「体づくり運動」の授業で、楽しさを味わわせながら継続的に多様な動きをできるようにする。 ※毎学期にパワーアップタイムを設け、全校で集中的に、特に課題となる能力の向上を目指す。 ・コーディネーショントレーニングの実施による運動能力の向上を目指す。 ・一人一台端末の活用 ・校内研究「体育の授業でシンキング&チャレンジ」でゲーム・ボール運動領域の学習における思考力の向上。
●高学年…	≪令和4年度体力テストの結果より≫ ・握力、立ち幅とびが重点課題である。 ・体力合計点の都平均以下は5年男子女子、6年男子女子だが、男子は平均との差が約4点、女子は平均との差が約0.6と男女の差が激しい。	<ul style="list-style-type: none"> ・体育「体づくり運動」の授業で、個々の課題解決に向けながら体力を高めさせる。 ※毎学期にパワーアップタイムを設け、全校で集中的に、特に課題となる能力の向上を目指す。 ・コーディネーショントレーニングの実施による運動能力の向上を目指す。 ・一人一台端末の活用 ・校内研究「体育の授業でシンキング&チャレンジ」でゲーム・ボール運動領域の学習における思考力の向上。